

第9回山口県総合芸術文化祭 HEART2015

平成27年9月26日[土]—10月12日[月・祝]

今年9回目を迎えるHEART2015は、創始以来69年の歴史を誇る山口県美術展覧会を核として開催いたします。会期中は、美術館(美術)と、街(日常生活)をつなぐためのイベントを企画し、「ものづくり」とそれを通じた「コミュニケーション」の楽しさや大切さを伝えていきます。

■ くぼたまさと工作ショー in 山口県美
[日時] 10月10日(土) ①11:00~12:00
②13:30~14:30
[会場] 山口県立美術館 講座室
[対象] 4歳~小学生低学年と保護者
[定員] 各回40組80名程度(要申込、先着順)

■ ちびっこ工作コーナー
[日時] 9月26日(土)~10月12日(月・祝)
までの土・日・祝 10:00~15:30
[会場] 山口県立美術館 ロビー
[材料費] 無料~300円程度
[申込] 不要
[内容] 缶バッジやスポンジ工作、LEDミニキャンドルライトづくりほか

■ 県美展アーティスト交流企画
戸嶋由香ワークショップ
「銅版画を楽しむ~メゾチント技法で明暗濃淡諧調表現」
[日時] 9月26日(土) 13:00~16:30
[会場] 中市コミュニティホール(Nac)
[定員] 20名程度
[対象] 高校生以上(要申込、先着順)

■ お申し込み方法
イベント名・参加者の氏名・年齢・住所・電話番号を記入の上、**FAX(083-925-7790)**または美術館WEBサイト[<http://www.yma-web.jp/event/>]からお申し込みください。
※記入いただいた個人情報はそれぞれのイベントに関する業務以外には使用しません。



第69回山口県美術展覧会

平成27年9月26日[土]—10月12日[月・祝]

休館日 9月28日(月)
※ただし、**ファーストマナー**の10月5日(月)は開館
観覧料 一般500(400)円 学生400(300)円 ()内は20人以上の団体料金
※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、特別支援学校に在学する生徒は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
会場 山口県立美術館

ジャンルの枠などの制限がなく、自由な表現の作品が魅力の山口県美展。展示室いっぱいの創作意欲あふれる作品たちと共に、会期中行われるワークショップやギャラリートーク「自作を語る」などもお楽しみください。詳しくは、県美展要項か美術館ホームページをご覧ください。

● 審査員
河崎 晃一(美術家、フリーキュレーター、甲南女子大学教授)
佐藤 時啓(写真家/美術家、東京藝術大学教授)
水沢 勉(美術評論家、神奈川県立近代美術館長)

● 特別展示
昨年度の大賞受賞者、小田善郎氏による新作を展示します。



昨年度大賞受賞作品
小田善郎「顔遊び1」

2015 - 2016

schedule

山口県立美術館 平成27年度スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
9				9/26(土)~10/12(月・祝) 第69回山口県美術展覧会		
10	7/10(金)~10/25(日) 松田正平小品展	7/10(金)~10/25(日) 1940~50年代の 香月泰男	9/15(火)~10/25(日) 小さきものは、 みなうつくし	休館(10/22~10/23)・(10/26~10/29)		
11	10/30(金)~1/17(日)	10/30(金)~1/17(日)	10/30(金)~12/6(日) 雪舟と雲谷派3 雪舟とその弟子	特別展 10/30(金)~12/6(日) ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画 「マネジメントの父」が愛した日本の美		
12	美術と写真が 近づいたとき	変容するイメージ ーシベリア・シリーズ の具象と抽象	12/8(火)~1/17(日) 雪中待春	休館(12/28~1/1)		
1			1/19(火)~2/14(日) 山口ゆかりの 日本画家	1/2(土)~3/6(日) 山口ゆかりの 洋画家・ 山口の工芸		
2	1/19(火)~4/17(日) 香月泰男の旅	1/19(火)~4/17(日) 香月泰男の太陽	2/16(火)~3/13(日) 雪舟と雲谷派4 梅匂ふ	1/26(火)~1/31(日) 第68回山口県学校美術展覧会 2/3(水)~2/7(日) 山口県立大学卒業制作展 2/10(水)~2/14(日) 山口芸術短期大学卒業制作展 2/18(木)~2/21(日) 山口大学教育学部美術教育卒業・修了制作展		
3			3/18(金)~4/17(日) 松林桂月 水墨の美	休館(3/14~3/17) 特別展 3/18(金)~5/8(日) リパブル国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派展		

Information

■ 休館日
月曜日(祝日・休日の場合は開館)、年末年始(1/2から開館)
※ただし、**ファーストマナー** 特別展開催中の第1月曜日は開館。
展示替期間 2015年10月22日(木)・23日(金)、10月26日(月)~29日(木)、
12月28日(月)~2016年1月1日(金・祝)、3月14日(月)~17日(木)
■ 開館時間
9:00~17:00(入館は16:30まで)
■ 料金
コレクション展: 一般300(240)円 学生200(160)円
※()内は20名以上の団体料金。
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に
在学する生徒は無料。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
特別展: 別途定めた料金

f 美術館情報をフェイスブックで紹介しています



山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790
<http://www.yma-web.jp/>

Yamaguchi Prefectural Art Museum

山口県立美術館ニュース「天花」

124

Contents
コレクション展

特別展

ドラッカー・コレクション 珠玉の水墨画
「マネジメントの父」が愛した日本の美

リパブル国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派展

HEART2015
年間スケジュール

天花

TENGE



《秋山》 小林和作 山口県立美術館蔵

コレクション展

山口ゆかりの洋画家・ 山口の工芸

2016 1/2 田—3/6 日

表紙作品解説

《秋山》 小林和作 1963年 51.4×100.0cm 油彩・カンヴァス

旧秋穂町出身の小林和作(1888~1974)は、日本各地を写生して回り、鮮やかな色彩の風景画を描いた画家です。風景のなかに「自分の好みに合う形」を探して歩くという画家が訪れた場所は、北は北海道から東北、中部山岳地帯、北陸、近畿、中国、四国、九州の鹿児島にまでおよんでいます。

和作の描き方は、鉛筆と水彩によるスケッチを現場で何枚も描き、後日、それらをもとに、アトリエで油彩画に仕上げるという方法でした。筆とペインティングナイフを併用しながら絵具を重ねていくスピード感あるタッチは、描きながら高揚していく画家の心がそのまま表れているように見えます。

黒々とした高い常緑樹の向こうに谷が広がり、兩岸の山肌は紅葉に染まっています。中空に浮かんでいるのは赤い太陽でしょうか、夕方の景色のようにも見えます。

和作はこの作品について以下のように説明しています。「大和の、吉野川の、上流に柏木という所がある。そこから、半里ばかり上流へ行って、下流の方を見ると、こんな景色がある」(「春雪秋霜」求龍堂)。普通よりも横長のカンヴァスに描くことで、山奥で見つけた広々とした眺めの解放感が、みごとに表現されています。

(山口県立美術館副館長 斎藤郁夫)

ドロッカー・コレクション 珠玉の水墨画

「マネジメントの父」が愛した日本の美

2015年 10月30日金 - 12月6日日

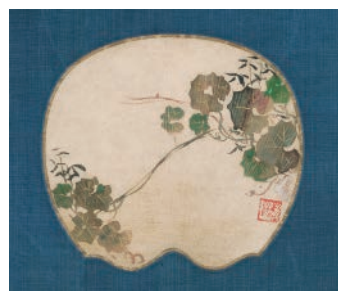
休館日 月曜日
※ただし、**ファーストマンデー**の11月2日(月)および11月23日(月・祝)は開館

観覧料 一般1200(1000)円、シニア・学生1000(800)円
※シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよび20名以上の団体料金。
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。



伊藤若冲《鶴図》

【主催】ドロッカー・コレクション展山口実行委員会(山口県立美術館/朝日新聞社/yab山口朝日放送)、日本経済新聞社
【後援】アメリカ大使館 【特別協力】SANSŌ LLC 【協力】ドロッカー・インスティテュート、日本航空



尾形光琳《鳥図(团扇)》



浦上玉堂《山声松音図》



如水宗淵《柳堤山水図》



雪村周継《月夜独釣図》

—正気を取り戻し、世界への視野を正すために、 私は日本画を見る—

Peter F. Drucker (1909-2005)

経営学の泰斗として、世界の企業人に多大な影響を与え続けてきたピーター・F・ドロッカー(1909-2005)。

岩崎夏海の『もし高校野球のマネージャーがドロッカーの「マネジメント」を読んだら』がベストセラーになったことは記憶に新しく、「マネジメントの父」とも呼ばれるこの人物に対する関心は、没後10年の今、ふたたび高まっています。

ところで、彼が若い頃から日本の古美術に深い関心と愛情を寄せていたということをご存知の方は多くありません。実はドロッカーには、日本美術のコレクターというもう一つの顔がありました。

ドロッカーは、ロンドンで銀行員として働いていた1934年に、たまたま迷い込んだ日本美術展で日本絵画の美しさに魅了され、以後アメリカ移住してからも熱心に美術館に通って日本絵画の研究を続けました。1959年に初めて日本を訪れたとき、日本絵画を購入して長年の望みを実現しました。それからは40年近くにわたって、夫人とともにその収集に心を傾けました。

ドロッカー自身によって「山荘コレクション」と名付けられた200点にもおよぶコレクションは、稀少な室町時代の水墨画が軸となっている点で、たいへん珍しく個性的なものであり、くわえて、桃山時代の武人画家・海北友松、江戸時代の池大雅や浦上玉堂などの文人画、白隠などの禅画、伊藤若冲、琳派などの作品も含まれています。

本展は、ドロッカー夫妻の優れた鑑識眼によって選ばれた珠玉の日本絵画111点を、ゆかりの品々などとともにご紹介いたします。

関連プログラム

室町的水墨画をじっくりとご覧いただけるまたとない機会となるこの展覧会の開催期間中、水墨画を楽しむためのさまざまなプログラムをご用意しています。是非、ご参加下さい。

雪舟と雲谷派3 「雪舟とその弟子」展

重要文化財に指定されている当館所蔵の3点の雪舟画(山水図巻と牧牛図2幅)を展示するとともに、秋月等観、周徳、雲溪永怡といった、雪舟の弟子あるいはその流れを汲んだ室町時代の画家たちの作品をごらんいただけます。



雪舟等楊《牧牛図(渡河)》
室町時代 紙本墨画淡彩



雪舟等楊《牧牛図(牧童)》
室町時代 紙本墨画淡彩



雪舟等楊《傲高克恭山水図巻(部分)》
1474年 紙本墨画

記念講演会

「ドロッカーさんが愛した墨絵の世界 — 逸伝の室町水墨画家たち」
【日時】11月1日(日) 14:00～ 【会場】山口県立美術館講座室
【定員】80名(当日先着順) 聴講無料 【講師】河合正朝(千葉市美術館館長)

シンポジウム

「雪舟とその弟子」
【日時】11月22日(日) 14:00～ 【会場】山口県立美術館講座室
【定員】80名(当日先着順) 聴講無料
【パネリスト】渡邊雄二(九州産業大学教授)、綿田稔(文化庁美術学芸課文化財調査官)、
荏開津通彦(当館学芸員)
【コーディネーター】影山純夫(神戸大学名誉教授)

学芸員によるギャラリートーク

会期中の毎週土曜日10:00～ (30分程度 申込不要)

❗**毛利博物館「国宝展」** [10月31日(土)～12月6日(日)] とのお得なセット券発売。
【一般】1,800円 【シニア・学生】1,600円 ※総額で400円お得です。
ドロッカーが愛した室町水墨画と、雪舟が描いた《四季山水図巻》。同時代の名品をあわせてご堪能下さい。

リバプール国立美術館所蔵

英国の夢 ラファエル前派展

Pre-Raphaelite and Romantic Painting from National Museums Liverpool

2016年3月18日[金] - 5月8日[日]

休館日 月曜日 ※ただし、**ファーストマンデー**の4月4日[月]、5月2日[月]は開館

1848年、ダンテ・ゲイブリエル・ロッセッティ、ウィリアム・ホルマン・ハント、ジョン・エヴァレット・ミレイを中心とする若い芸術家たちが、ロンドンで、秘密結社めいたグループ「ラファエル前派」を結成します。19世紀半ばのイギリスでは、道徳的な意味合いがわかりやすく描写された、物語仕立ての絵画が主流となっていました。ラファエル前派の画家たちは、こうした時代背景のもと、「自然に忠実に」という理念を掲げ、イタリア・ルネサンスの巨匠、ラファエロ・サンティ以前—すなわち15世紀以前のヨーロッパの芸術に立ち返ることを目指します。彼らは宗教的、文学的、また歴史的主題を最大の誠実さと熱意をもって描きだし、自然の形態を可能な限り正確に写し取っていきました。

ラファエル前派の芸術は、それまでのイギリス美術とは全く異なる、画期的なものでした。それゆえ、彼らの前衛的な作品は、美術愛好家や批評家たちのあいだに賛否両論を巻き起こします。また若いメンバー同士の芸術観をめぐる対立が徐々に表面化していき、結局グループとしての活動は、わずか数年足らずで終わりを迎えました。しかし彼らの作品とその理念が、後のイギリス美術に与えた影響は計り知れません。19世紀後半から第一次世界大戦前後に至るまで、ラファエル前派第二世代、第三世代と呼ばれる画家たちが、数多くの優れた作品を生み出しました。

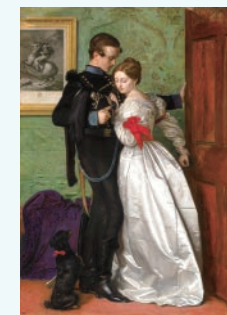
本展覧会は、リバプール国立美術館のコレクションから、ラファエル前派をはじめとする19世紀後半のイギリス美術の潮流をご紹介します。太平洋横断航路の歴史的起点として、またビートルズの故郷としても知られる街、リバプール。大英帝国の盛衰を見守ってきた古都が誇る美術館は、19世紀イギリス絵画の至宝を所蔵するヨーロッパ有数の美術館として、世界的に知られています。なかでも、ラファエル前派のコレクションはその質、量ともに素晴らしく、その多くが門外不出とされてきました。本展覧会の出品作品全65点も、そのほとんどが本邦初公開となります。

ラファエル前派とその理念を受け継いだ芸術家たちが紡ぐ、神話や文学に彩られた幻想的な世界。19世紀後半のイギリスに花開いた「英国の夢」を、この機会にぜひお楽しみください。

【主催】山口県立美術館、毎日新聞社、tysテレビ山口 【特別協賛】エルクホームズ株式会社
【後援】プリティッシュ・カウンシル 【協力】KLMオランダ航空、日本航空



ダンテ・ゲイブリエル・ロッセッティ
《シピラ・パルミフェラ》
1865-70年 油彩・カンヴァス
©Courtesy National Museums Liverpool,
Lady Lever Art Gallery



ジョン・エヴァレット・ミレイ
《ブラック・プランズウィッカーズの兵士》
1860年 油彩・カンヴァス
©Courtesy National Museums Liverpool,
Lady Lever Art Gallery



ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス
《デカメロン》
1916年 油彩・カンヴァス
©Courtesy National Museums Liverpool, Lady Lever Art Gallery